

# 平成 25 年度『高齢者の生活を支えるネットワークセミナー』 開催要項

## 1. 開催テーマ

「高齢者福祉像 10 年先構想～今、私たちがやるべきこと～」

## 2. 趣 旨

- 2025 年、団塊世代が後期高齢者となると、我が国の高齢化率は 30%を超え、認知症高齢者は 470 万人と推計されています。そうした少子高齢社会への対策として、高齢者が地域で、できるだけ長く生活を継続できるよう、地域包括ケアシステムの構築が急がれています。
- 現在、平成 27 年度の介護保険制度改正に向けて、大きな動きが想定されています。市町村が保険者として責任を持ち、地域での生活支援の充実と体制づくりが求められており、そのためには、住民、NPO、社会福祉法人、営利法人等が、それぞれの役割を果たしつつ、連携することが必要です。
- 『高齢者の生活を支えるネットワークセミナー』企画会議では、高齢者の生活支援に関わる多様な参画団体の現状や課題を共有化しつつ、自立した豊かな高齢者の生活を支えるために求められる活動・対策について継続して協議しています。今年度は、「高齢者 10 年先構想」をテーマに、協議を重ねてまいりました。
- 本セミナーはそのまとめとして、10 年先を見据え、「今、私たちがやるべきこと」についての企画会議参画団体が提案し、ご参加の幅広い関係者の皆様と意見交換することにより、今後の方向性や課題について共有したいと考えます。

## 3. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

企画運営 『高齢者の生活を支えるネットワークセミナー』企画会議

『高齢者の生活を支えるネットワークセミナー』企画会議とは、高齢者の生活支援に関わる多様な組織・団体が、高齢者の自立した豊かな生活を支えるために、支援の方向性や課題を共有し、かつ連携・協働のあり方を検討することを目的に、平成 24 年度に立ち上げました。

【参画団体】(五十音順)

さわやか福祉財団、市民福祉団体全国協議会、シルバーサービス振興会、住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会、全国移動サービスネットワーク、全国社会福祉協議会・地域福祉推進委員会、全国社会福祉施設経営者協議会、全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会、全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、全国農業協同組合中央会、全国民生委員児童委員連合会、全国老人給食協力会、全国老人クラブ連合会、全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会、日本生活協同組合連合会、日本認知症グループホーム協会、「民間事業者の質を高める」全国介護事業者協議会

4. 後 援 厚生労働省（予定）

#### 5. 参加対象者

介護保険サービス事業者／介護保険以外の高齢者の生活支援サービス事業者／  
ボランティア・市民活動団体／地域包括支援センター／在宅介護支援センター／  
社会福祉施設／当事者団体／民生委員／行政／社会福祉協議会  
その他、高齢者の生活支援に関わる組織・団体関係者

6. 日 時 平成 26 年 2 月 24 日（月）12：30～17：30

7. 会 場 全国社会福祉協議会 第 3～5 会議室  
（東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5 階）

8. 定 員 100 名

9. 参加費 2,000 円

#### 10. プログラム

(1)基調報告 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

- 本セミナーにおける議論をすすめるための共通認識として、「高齢者の生活を支える」ために必要な支援、そのために必要な地域の体制等について基調報告します。

(2)オープンディスカッション

「高齢者福祉像 10 年先構想 ～今、私たちがやるべきこと～」

- 高齢者が地域で生活し続けるためには、介護保険サービス等のフォーマルサービスは根幹のサービスではありますが、それだけでは充分ではありません。地域の中で人間関係を築き、ゴミ出しなどのちょっとした家事や話し相手などといった、身近な地域の支援体制が必要です。
- オープンディスカッションでは、まず企画会議参画団体より、10 年先の高齢者の生活を支える地域づくりのために、『今、私たちがやるべきこと』について提案を行います。新たな課題やこれまで取り組めずにいた課題など、これからやるべきことを提案することで、現状の組織・活動・事業の枠を超えて、お互いがつながる可能性を模索するものです。
- 高齢者支援を切り口に、支援を必要とする住民を支える地域をどのようにつくっていくのか、われわれ支援者はこれからどのように活動を展開していくのか、ということについて、方向性や課題を共有し、かつお互いの活動について理解を深めることで、協働の可能性や、地域づくりの中での役割分担が見えてくると考えます。参加者の皆様との積極的な意見交換を行いつつ、議論を進めます。

《協議テーマ》

「10年後の高齢者の生活を支えるために、今、私たちがやるべきこと」

- ① 高齢者の孤立を防ぎ、高齢者が地域とつながるための取り組みについて
- ② 高齢者が求めるニーズと、それに応えるための地域のしくみづくりについて

(3)参加者交流（名刺交換会）

- セミナーにご参加いただいた、高齢者の生活支援をすすめる様々な関係者の交流を図るため、名刺交換の時間を設けます。

12:00	12:30	13:00	16:40	16:50	17:30
受付	基調 報告	オープンディスカッション			参加者交流 (名刺交換会)

## 11. 申込方法

- 参加のお申し込みは、別紙申込書に必要事項をご記入の上、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店までファックスにてお申し込みください。
- 申込は先着順に受け付け、定員に達した場合は締め切らせていただきます。
- 参加申込締切 平成26年2月14日(金)
- 開催日の1週間前に、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店より、参加券および振込依頼書をお送りいたしますので、届き次第お振込をお願いいたします。

《参加申込先》

名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当：波多野  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルLB階  
TEL.03-3595-1121 Fax.03-3595-1119

## 12. 参加の取り消し

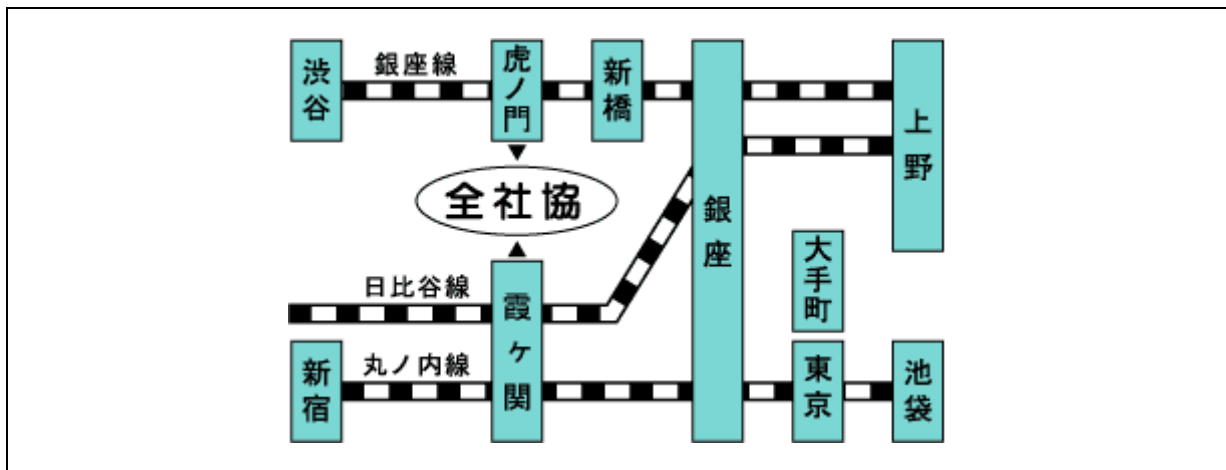
- 参加費入金後の参加取り消しはできません。セミナー資料の発送をもって代えさせていただきます。

## 13. 個人情報の取扱い

- 申込書に記載いただいた個人情報につきましては、申込受付等委託業者（名鉄観光サービス株式会社）と事務局（全社協高年・障害福祉部）において、共同利用させていただきます。個人情報は、参加申込受付、参加管理等セミナー運営に必要な範囲で使用いたします。
- 参加者間の交流に資するため、申込書をもとに参加者名簿を作成し、当日参加者に配布いたします。

#### 14. 内容に関する問合せ先

社会福祉法人全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部 担当：河辺、山崎  
 〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
 TEL.03-3581-6502 Fax.03-3581-2428



- 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分
- 地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- 地下鉄千代田線／丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

平成 25 年度『高齢者の生活を支えるネットワークセミナー』  
「高齢者福祉像 10 年先構想 ～今、私たちがやるべきこと～」

参加申込書(参加申込方法のご案内)

日 時 平成 26 年 2 月 24 日(月) 12:30～17:30  
会 場 全社協 第 3～5 会議室 (東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5 階)  
定 員 100 名 ※定員に達した時点で受付を終了させていただきます。ご了承ください。  
参 加 費 2,000 円

■お申込み方法について

参加をご希望の方は下記「参加申込欄」に必要事項を記入の上 FAX にてお申込みください。  
事務手続上、**2 月 14 日(金)**を申込締切日とさせていただきます。  
開催日の 1 週間前に参加券および費用の振込依頼書をご郵送させていただきます。到着後送金のお手続きをお願いします。

■申込後の参加取消について

お申込み後の参加取消のご連絡につきましては、申込時の申込書を訂正の上名鉄観光サービス(株)新霞が関支店まで再度FAX送信をお願いします。  
なお、参加費入金後の参加取消に関しましては参加費の返金はありません。セミナー資料の発送をもって代えさせていただきます。

■参加申込欄

都道府県名	所属団体名称		
所属団体 所在地 (連絡先)	郵便番号	※参加券等の発送先となりますので正確にご記入ください。	
	住 所		
	電 話	FAX	申込ご担当者 様
◎所属団体の活動内容を簡単にご記入ください。(グループ分けの参考とさせていただきます)			
参加者氏名	フリガナ	(所属団体における)職名・役職名	備考欄
1			
2			
3			
費用計算欄	お申込み内容に基づく費用の計算をお願いします。 参加費:2,000 円 ×参加者[ ]名 = [ ]円 上記金額の振込依頼書を参加券とあわせて開催 1 週間前にお送りします。		

申込書送信先> 名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当 波多野  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルLB階

**FAX 03-3595-1119** **添書は不要です**

電話 03-3595-1121 受付時間 平日:9:30～17:30  
(土日祝日は休業とさせていただきます)

変更・取消が生じた場合は本申込書を訂正箇所がわかるよう修正の上、再度 FAX にてご送信ください。